



かぶと虫イベント開催

商店街(振)高崎中部名店街

商店街振興組合高崎中部名店街(西澤彰理事長、組合員68人)では、7月18日～19日の2日間、高崎市・さやもーるにおいて「かぶと虫イベント」を開催した。

この催しは、商店街の組合員が幼虫から育てたかぶと虫1000匹を、さやもーる内に設置した木に放し、参加者に自由に捕まえてもらうイベント。また、捕ったかぶと虫を戦わせるリングも近くに用意され、2匹のかぶと虫が戦う様子を夢中になる子供たちの姿が見られた。他にも、手裏剣投げやかぶと虫工作室、プレ

ミア金魚すくいなど趣向を凝らしたイベントが盛り沢山。さらに、商店街内の一面に設置されたライブ広場では、子供たちが参加する演奏会が開催されるなど、暑い夏を楽しく過ごす家族連れなどで賑わった。



かぶと虫の戦いを応援する子供たち

表彰式・研修会を開催

群馬県生花商業(協)

群馬県生花商業協同組合(近藤一理事長、組合員53人)は、7月21日、前橋市・前橋テルサにおいて通常総会を開催した後、昨年開催したフラワーデザインコンテスト「群馬グランプリ」の入賞者へ表彰状授与を行った。また、同年、長野県で開催された「全日本花卉

装飾技術選抜選手権」で全国優勝した組合員を紹介すると共に記念品を贈呈した。同選手権で群馬県から優勝者が出たのは、近藤理事長が受賞して以来34年ぶり。



表彰状を手渡す近藤理事長

式典後は、組合員による、胡蝶蘭の品質向上をテーマに研修会を開催。研修では、体験を基にした温度・湿度・光量の適切な管理方法や花の生産者の状況等が解説された。出席者は、終始真剣な眼差しで説明を聞き、質疑応答では、様々な質問がなされ、関心の高さが窺えた。

電気使用安全月間に係るキャラバン隊

群馬県電気工事(工)

群馬県電気工事工業組合(小谷野一彦理事長、組合員780人)は、

8月3日、県庁昭和庁舎前において、電気使用安全月間に係るキャラバン隊の出発式を行った。

当キャラバン隊は、8月の電気使用安全月間に合わせ、電気使用安全及び節電等の啓発を目的に本組合が編成したもの。例年、(一財)関東電気保安協会群馬事業本部(公社)東京電気管理技術者協会群馬支部とともに県内各地を巡回してPRを行っている。今回は、東毛地区や伊勢崎の市役所等を巡回。

出発式では、小谷野理事長が運動の趣旨や実施内容を記した全日本電気工業業連合会米沢寛会長名の趣意書を読み上げ、群馬県危機管理監萩本勝美氏に手渡した。萩本氏は組合の活動への期待を述べ、組合員を激励した。

キャラバン隊は関係者及び県職員の大きな拍手の中、出発した。



小谷野理事長とキャラバン隊